

平成28年度第2号(通算4号)

世田谷区立平和資料館だより



愛称:せたがや未来の平和館



平成28年10月1日発行/生活文化部人権・男女共同参画担当課 平和資料館

《第1回企画展を開催しています(8/15~12/26)》

平和資料館の多目的室で企画展を開催しています。

この企画展では、「戦後70年プラス1」をテーマに、戦前、戦中、戦後の雑誌や新聞などを展示しています。ぜひ、太平洋戦争がどのように報道されていたかご覧ください。

展示品の中には、「写真週報」(戦時中の政府広報誌)など直接手にとってご覧いただけるものもあります。

企画展で展示されている雑誌や本、新聞の多くは世田谷区や周辺の区・市にお住まいの方からの寄贈品です。

展示品

戦前・戦中・戦後の雑誌、
グラフ誌26点 書籍9点
新聞(戦中)の切り抜き
新聞(2・26事件)の号外
戦中映画のチラシ
その他



企画展オープニングセレモニー

企画展の初日(15日)には、企画展示室でオープニングセレモニーを行いました。

セレモニーでは元喜多見中学校の生徒さんが作成したビデオ「世田谷ピース」の上映、NPO法人「ここよみ」による戦争体験作文の朗読を行いました。「世田谷ピース」のDVDは当館ライブラリーにあります。

《7月16日教育センターにて平和映画祭を開催しました》

映画祭では「アオギリにたくして」(中村柊斗監督作品)を上映しました。

この映画は、広島で被爆された方が被爆したアオギリの木に平和の願いをたくして被爆体験を伝えていくという内容です。

また、映画上映の前に、谷久光さん(日本記者クラブ会員)と保坂展人区長との対談を行いました。

映画をご覧の方から次のような感想が寄せられました。

- 初めて観ました。とてもすばらしい映画。 ○全世界の人々に観てもらいたい映画です。
- これは原爆ドラマではない。愛のドラマになっている。

※映画に出てくる被爆したアオギリの2世の木が世田谷公園に植えられています。



映画祭 区長対談

《8月31日、教育センターでの特別展が終了しました。9月より地域巡回展・中学校巡回展を実施しています》

今回の特別展は「太平洋戦争と戦時下の人々の暮らし」をテーマに、当時の写真パネルや区民の皆様からご寄贈いただいた戦時中の物品を展示しました。



特別展会場

〈ご来場者のご感想〉

- 戦争を知る人がどんどんいなくなり、戦争を知る機会が少なくなっています。なので、こういう企画展をぜひもっとやってほしいです。
- 狂気の芽、正気の内に入り取りて、狂気の無惨 再度招く
- 毎年拝見しており、このような機会に戦争を知ることができ、分かり易く説明されていると思うので、続けて欲しいと思います。私もがんばらなければと励まされます。

特別展で展示したパネルの巡回展示を行っています

尾山台地区会館（9月12日～25日）
北沢ゆほホール（9月26日～10月13日）
鎌田区民センター（10月14日～20日）
烏山区民センター（11月11日～24日）

中学校巡回展

世田谷区立中学校で巡回展を実施しています。太平洋戦争の写真パネルや、区民から寄贈された戦時中の物品を展示しています。3年間で全29校を回ります。

今年度実施校 北沢中（9/2～）千歳中（9/14～）緑丘中（9/28～）
松沢中（10/7～）芦花中（10/19～）船橋希望中（10/28～）
梅丘中（11/9～）上祖師谷中（11/18～）烏山中（11/30～）

《收藏品・ライブラリー図書紹介》

当館では、区民の皆さんなどから寄贈された戦時中の物品を100品目余り収蔵しています。また、ライブラリーには、約1500冊の書籍、約400巻の映像資料があります。児童向けの書籍や、学習の参考となる資料もたくさんありますので、ぜひ、ご利用ください。

〈收藏品〉

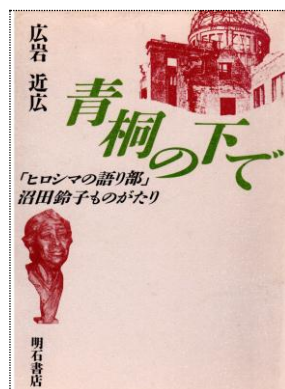


柳行李（やなぎごうり）
集団疎開の荷物を入れたもの



千人針（せんになんばり）
死線（4銭）を越えるという意味から5銭玉が縫い込まれている。

〈所蔵書籍〉



「青桐の下で」
広岩近広著
明石書店発行
映画「アオギリにたくして」の主人公のモデル沼田鈴子さんの物語



「サザエさん」
昭和21年4月～23年6月
長谷川町子著
朝日新聞社発行
終戦直後の庶民の暮らしが描かれている。

《ライブラリー収蔵品を貸し出しています》

ライブラリーのビデオ、DVD、図書を貸し出しています。

- 貸し出し期間は、図書、映像それぞれ2点、2週間です。
- 区内在住、在学、在勤の方が対象です。
- 著作権等の関係で、貸し出しができないものがあります。



ライブラリー

《児童・生徒の皆さんの学習に当館をご活用ください》

この28年度の夏休み、多くの児童・生徒の皆さんに、自由研究などに平和資料館をご活用いただきました。ありがとうございました。

平和資料館では、職員が直接児童・生徒の皆さんのご相談に乗ることもできます。また、先生方の授業の資料探しなどのお手伝いや出前授業もいたしますので、ぜひ、ご利用ください。

出前授業等を希望される方は、当館（3414-1530）までご連絡ください。

《「世田谷区立平和資料館事業評価委員会」実施報告》

8月1日に平成28年度第1回事業評価委員会を行いました。

「世田谷区立平和資料館事業評価委員会」は、平和資料館が行う事業の内容について評価・検証するための組織です。委員は、次の5名の方をお願いしております。

森岡清志（事業評価委員長・放送大学教授）、広岡守穂（中央大学教授）、斎藤重男（世田谷区町会総連合会会長）、佐瀬洋行（世田谷区立小学校 PTA 聯合協議会副会長）、秋元知子（世田谷区立中学校 PTA 聯合協議会会長）（敬称略）

委員会では、27年度事業実績、28・29年度事業計画の説明の後、各委員からご意見やご質問をいただきました。次に委員からのご意見の一部をご紹介します。

今後とも、当館事業について評価・検証を行い、適切な運営に努めていきます。

展示について

- 平和は、自分たちが主体的に作っていくというメッセージが必要。
- 展示は平和にこだわる必要はない。戦争遺品でなくてもよいと思う。
- 館内の展示を見、話を聞いて自由研究が一つ出来上がるようなものがあるとよい。

事業について

- 体験学習をしてもらうのもよい。平和を体感するプログラムを公募するのはどうか。
- 平和に向けての作文や平和をイメージする絵のコンクールをしてはどうか。
- 区内の大学のゼミ、学生と連携を考えるのもよい。
- 話を聞く機会を作ることが必要である。また、記録に残したりすることが必要である。

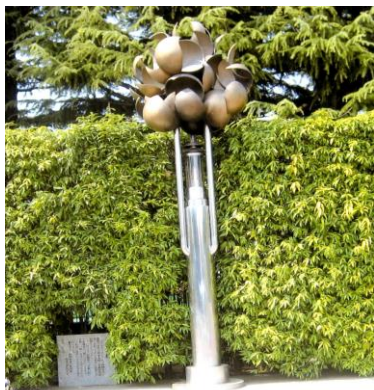
《平和資料館豆知識》

平和資料館がある世田谷公園は、太平洋戦争が終わるまで、日本陸軍の駒沢練兵場でした。戦争に深く関係したこの場所に、現在は平和のモニュメントが設置されています。



平和の祈り像

平和都市宣言を記念し、国際平和年の昭和61(1986)年12月、世田谷公園に彫刻家佐藤助雄氏制作の平和の祈り像が設置されました。この像は高さ1.5mのブロンズ製で、平和を願う区民からの寄付で、元々世田谷区が設置しました。



彫刻家向井良吉氏制作の「平和の灯」が設置されました。この灯には、広島市の「平和の灯」と長崎市の「誓いの火」とともに、平和を願う区民の火も合わせて点火されました



被爆2世の木

平成4(1992)年に児童文学作家故大川悦生氏より寄贈されたもので、平成7(1995)年にこの地に植樹しました。アオギリ(左)と柿の木(右)があります。アオギリは広島市で被爆した木の2世で、柿の木は、長崎市で被爆した木の2世です。

世田谷区立平和資料館（せたがや未来の平和館）のご案内

- 開館時間 午前9時 ~ 午後5時
- 入場料 無料
- 休館日 毎週火曜日（火曜日が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 所在地 〒154-0001 東京都世田谷区池尻1-5-27 世田谷公園内（野球場となり）
☎ 03-3414-1530
FAX 03-3414-1532

□ 交通機関

東急田園都市線・世田谷線 三軒茶屋駅 徒歩18分

東急田園都市線 池尻大橋駅 徒歩18分

バス(渋谷発)

三宿下車 徒歩5分

成城学園 祖師谷大蔵 調布駅南口 弦巻営業所

二子玉川 等々力 田園調布 下馬一丁目循環 上町

野沢龍雲寺循環 多摩川駅 東京医療センター行き

自衛隊中央病院入り口下車 徒歩3分

下馬一丁目循環 野沢龍雲寺循環 多摩川駅

東京医療センター 行き

